

国交省統計 平成 22 年新設住宅着工戸数 81 万 3126 戸、前年比 3.1%増

国土交通省が1月31日に発表した平成22年の新設住宅着工戸数は81万3,126戸で前年比3.1%増となった。

利用関係別では持家が30万5,221戸で前年比7.2%増と前年の減少から再び増加に転じた。

貸家は29万8,014戸で前年比7.3%減、2年連続の減少。分譲住宅は20万1,888戸で19.6%増と前年の減少から再び増加に。その内訳はマンションが9万597戸で18.2%増、前年の減少から再び増加。一戸建住宅は11万358戸で20.9%増となり4年ぶりの増加となった。

一方、全建築物の着工床面積は、12,146万㎡で5.2%増、4年ぶりの増加に。公共の建築主は827万㎡、3.0%増、3年連続の増加。民間建築主は11,318万㎡で5.3%増、4年ぶりの増加となった。

用途別では居住用が6.1%増の7,693万㎡、非居住用が3.7%増の4,452万㎡となった。

平成22年の新設住宅着工戸数

平成22年	新設住宅 着工戸数	前年比 %
1月	64,951	-8.1
2月	56,527	-9.3
3月	65,008	-2.4
4月	66,568	0.6
5月	59,911	-4.6
6月	68,688	0.6
7月	68,809	4.3
8月	71,921	20.4
9月	71,998	17.7
10月	71,390	6.4
11月	72,838	6.8
12月	74,517	7.5
総計	813,126	3.1

注意)本書を無断で転載することを禁じます。